

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成26年度には、平成25年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、県内で1,402事業所から届出がありました。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出 事業所数	届出物質 種類数	業種名	届出 事業所数	届出物質 種類数
食料品製造業	9	12	船舶製造・修理業、船用機関製造業	7	15
飲料・たばこ・飼料製造業	2	4	精密機械器具製造業	2	5
酒類製造業	1	1	医療用機械器具・医療用品製造業	3	3
衣服・その他の繊維製品製造業	1	4	その他の製造業	4	3
家具・装備品製造業	2	6	電気業	9	10
パルプ・紙・紙加工品製造業	11	7	下水道業	40	31
出版・印刷・同関連産業	12	13	鉄道業	1	1
化学工業	138	191	倉庫業	10	21
医薬品製造業	10	14	石油卸売業	16	8
農薬製造業	2	4	燃料小売業	601	9
石油製品・石炭製品製造業	23	41	洗濯業	12	5
プラスチック製品製造業	35	53	自動車整備業	18	6
ゴム製品製造業	9	46	機械修理業	2	2
窯業・土石製品製造業	16	23	商品検査業	1	3
鉄鋼業	10	27	計量証明業	3	3
非鉄金属製造業	24	36	一般廃棄物処理業（ごみ処分業に限る。）	46	34
金属製品製造業	76	32	産業廃棄物処分業	21	34
一般機械器具製造業	47	27	医療業	5	3
電気機械器具製造業	54	34	高等教育機関	9	9
電子応用装置製造業	2	3	自然科学研究所	32	17
輸送用機械器具製造業	70	40			
鉄道車両・同部分品製造業	6	10	合計	1,402	229

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出 事業所数	市町村名	届出 事業所数	市町村名	届出 事業所数	市町村名	届出 事業所数
横浜市	413	逗子市	2	綾瀬市	29	開成町	6
川崎市	193	三浦市	9	葉山町	5	箱根町	10
相模原市	113	秦野市	44	寒川町	25	真鶴町	—
横須賀市	56	厚木市	69	大磯町	5	湯河原町	2
平塚市	81	大和市	45	二宮町	1	愛川町	23
鎌倉市	24	伊勢原市	32	中井町	5	清川村	1
藤沢市	63	海老名市	24	大井町	9		
小田原市	46	座間市	21	松田町	—	合計	1,402
茅ヶ崎市	25	南足柄市	14	山北町	7		

※ 松田町及び真鶴町では届出がありませんでした。

(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった排出量・移動量全体は、総届出排出量・移動量 14,548 トンであり、その内訳は、総届出排出量 5,773 トン、総届出移動量 8,775 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 5,493 トン、公共用水域への排出 280 トン、土壌への排出及び事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 8,685 トン、下水道への移動 91 トンでした。

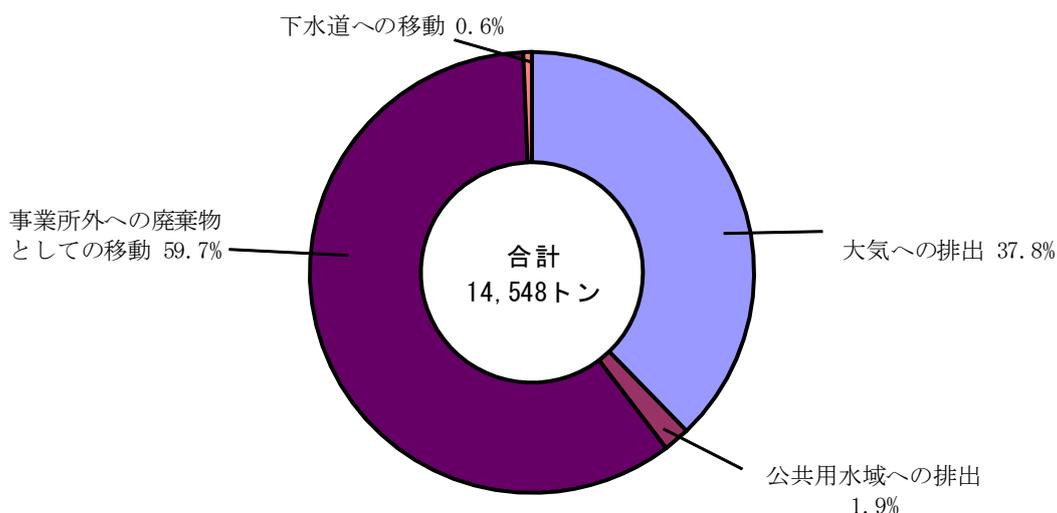


図1 総届出排出量・移動量

イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質の合計は 10,726 トンで、総届出排出量・移動量 14,548 トンの 73.7%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

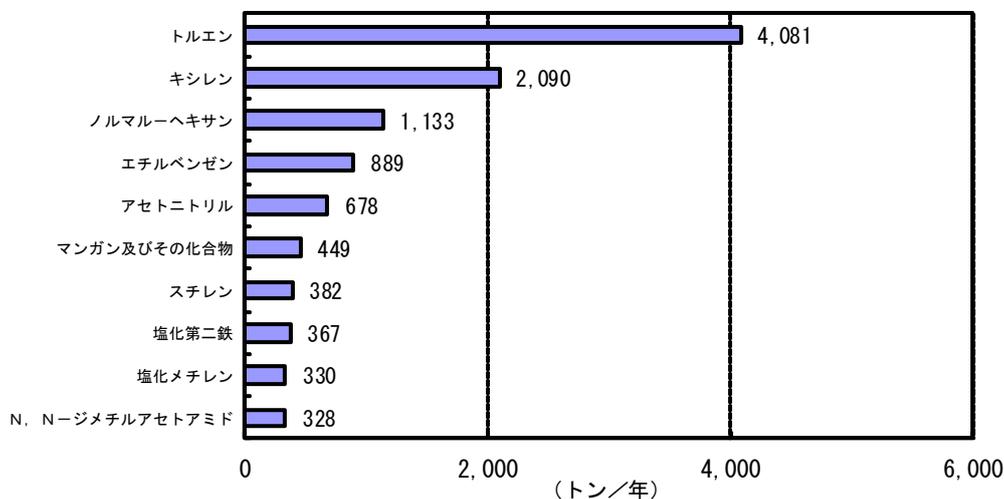


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

ウ 届出排出量の状況

届出排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,158 トンで、総届出排出量 5,773 トンの 89.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

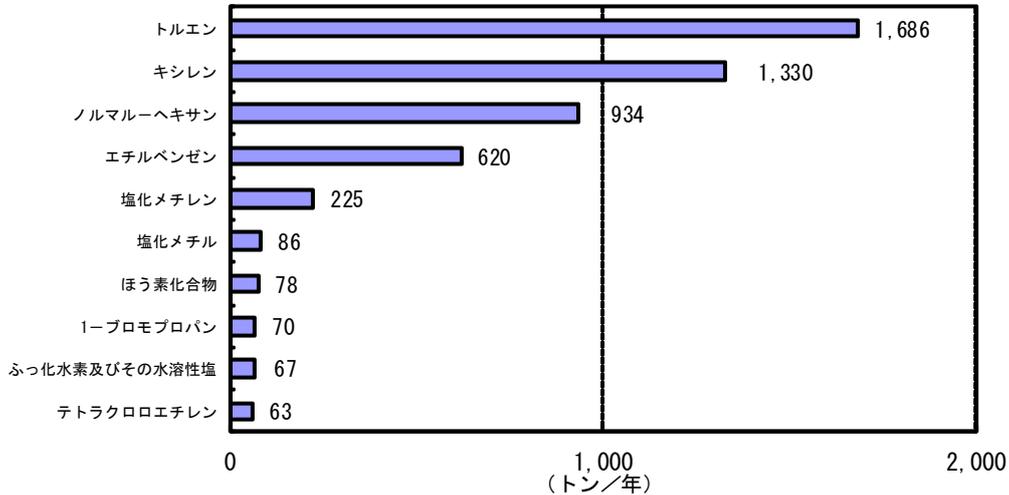


図 3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況

届出移動量の多い上位 10 物質の合計は 5,994 トンで、総届出移動量 8,775 トンの 68.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

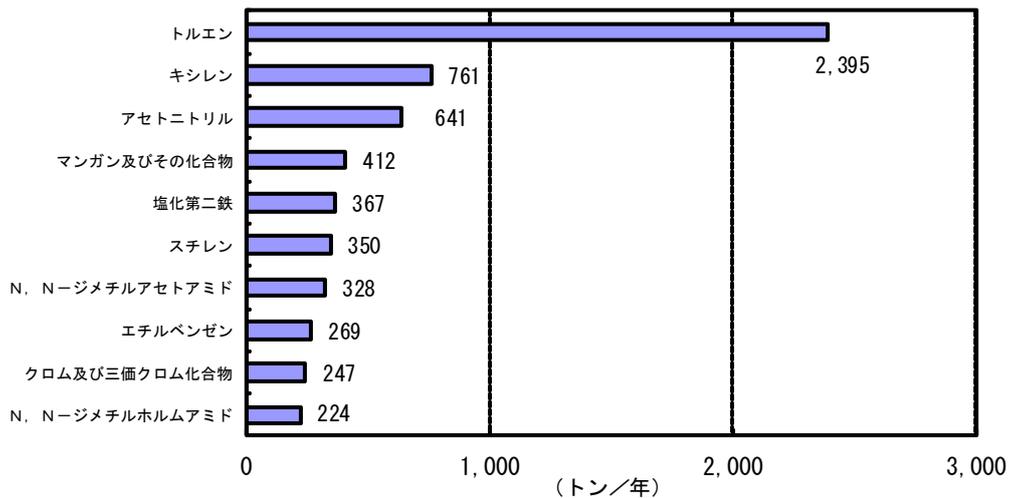


図 4 届出移動量上位 10 物質

オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(7) 大気への排出状況

大気への排出量の多い上位 10 物質の合計は 5,105 トンで、大気への排出量全体 5,493 トンの 92.9%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

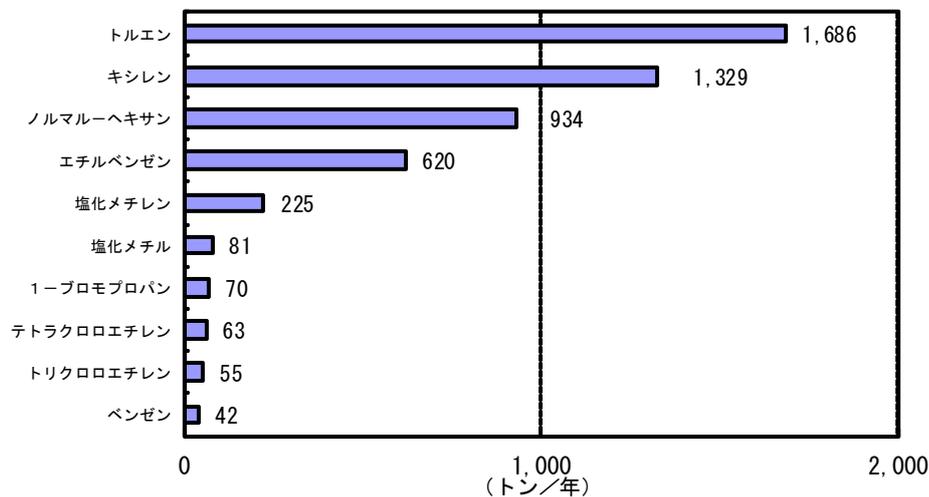


図5 大気への排出量上位 10 物質

(イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の多い上位 10 物質の合計は 266 トンで、公共用水域への排出量全体 280 トンの 95.0%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

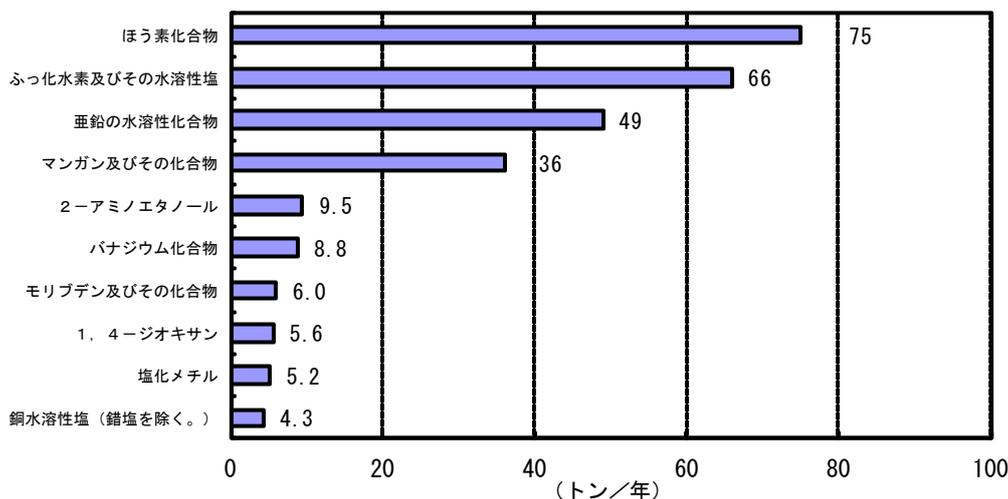


図6 公共用水域への排出量上位 10 物質

(ウ) 土壌への排出状況

平成 24 年度は、土壌への排出を行ったという届出はありませんでした。

(I) 事業所における埋立処分の状況

平成 225 度は、事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の多い上位 10 物質の合計は 5,929 トンで、廃棄物としての移動量全体 8,685 トンの 68.3%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

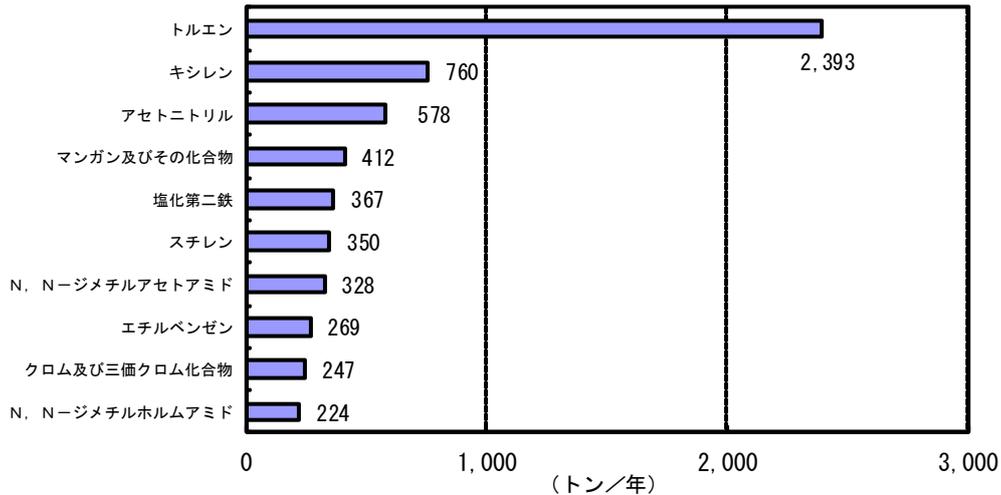


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の多い上位 10 物質の合計は 85 トンで、下水道への移動量全体 91 トンの 93.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

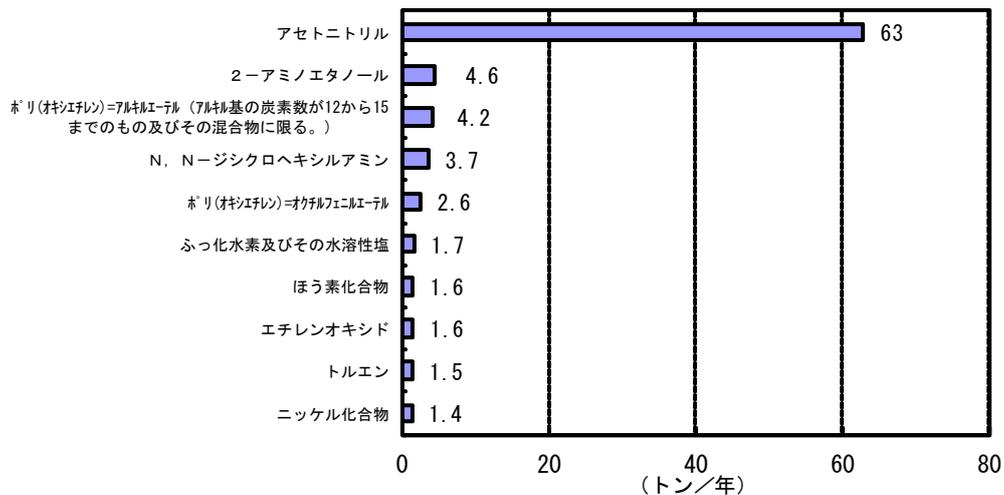


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

(7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の多い上位 10 業種の合計は 12,507 トンで、総届出排出量・移動量 14,548 トンの 86.0%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

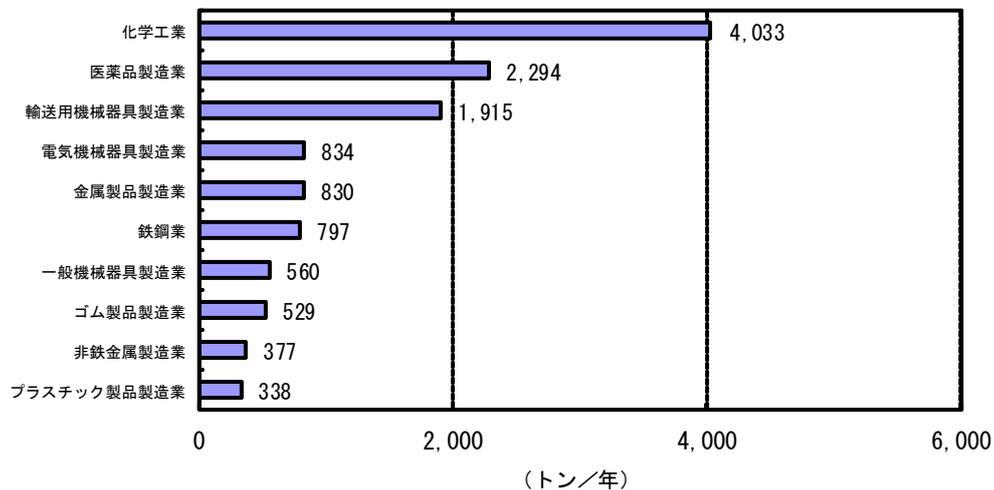


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量

届出排出量の多い上位 10 業種の合計は 4,935 トンで、総届出排出量 5,773 トンの 85.5%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

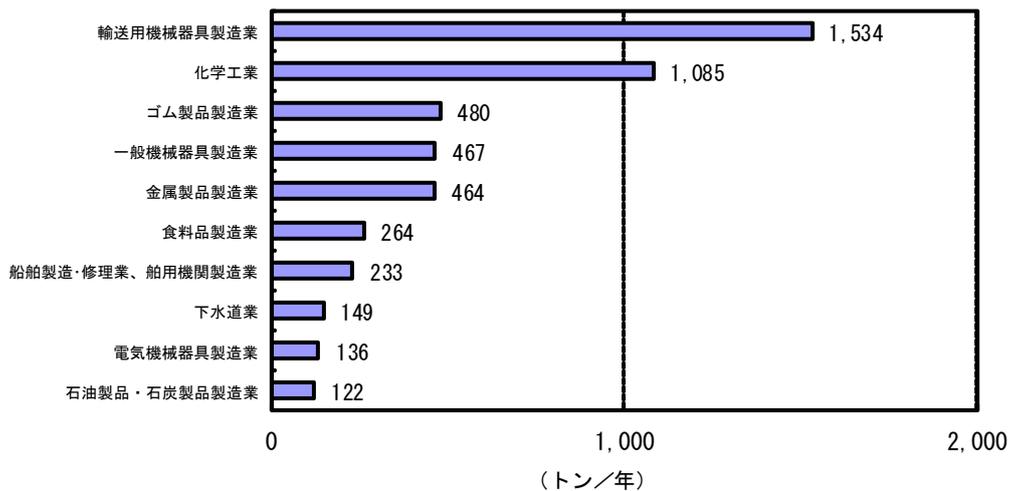


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

届出移動量の多い上位 10 業種の合計は 8,144 トンで、総届出移動量 8,775 トンの 92.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

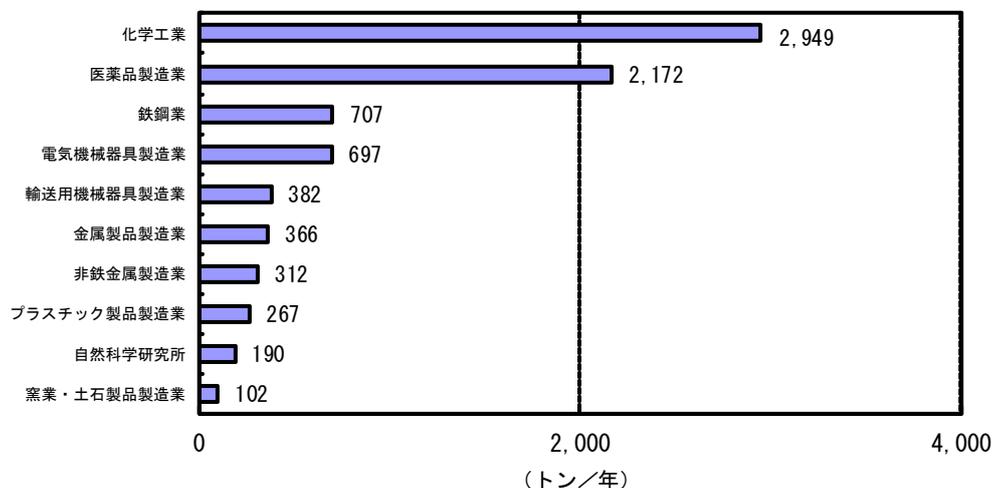


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	5,730	0	5,730	5,730
エチレンオキシド	10,284	0	0	0	10,284	320	1,600	1,920	12,204
カドミウム及びその化合物	0	9	0	0	9	25	0	25	34
六価クロム化合物	3	25	0	0	27	22,566	89	22,655	22,682
塩化ビニル	9,800	39	0	0	9,839	0	0	0	9,839
鉛化合物	44	1,891	0	0	1,935	21,481	1	21,481	23,416
ニッケル化合物	153	1,724	0	0	1,877	86,935	1,353	88,289	90,166
砒素及びその無機化合物	7	147	0	0	154	2,570	0	2,570	2,725
1,3-ブタジエン	20,917	320	0	0	21,237	488	0	488	21,725
2-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	41,569	76	0	0	41,645	276	0	276	41,921
ホルムアルデヒド	9,858	633	0	0	10,491	72,302	106	72,408	82,898
ダイオキシン類	3,142	34	0	170	3,347	98,170	1	98,171	101,518
合計	92,635	4,863	0	0	97,498	212,693	3,149	215,842	313,340